

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」 患庭校		
○保護者評価実施期間	2024年 11月 25日		2024年 12月 20日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	17名	(回答者数) 15名
○従業者評価実施期間	2024年 11月 25日		2024年 12月 10日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2024年 12月 25日		

## ○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	個別支援を行うことで、1人、1人の細かい部分まで丁寧な支援ができる。	利用者に今必要なことを個別計画に入れることで、職員が共通理解の元支援ができるようにしている。	担当を決めていないので、次の支援の為に引継ぎを行い、引継ぎされたことができるまで支援を継続。色々な職員が支援していくことで、利用者の幅も広がるような取り組みをしている。
2	療育と言われるところの土台の部分を作ることで、利用者の幅も広がっていく。	将来社会に出てからの困り感が少しでも少なくなるように自分で考え動ける力がつくような支援内容を考えている。取り組みでは、「こんな時どうする?」「こんな時どんな気持ちになる?」等、ソーシャルスキルトレーニングを行っている。その他には「想像する」ことで目に見えないことも考えられるような支援を行っている。	職員同士が共通理解で支援を行っているかの確認を更に行うことで、利用者一人一人の支援に深みを増し成果を出せるようにしている。
3	児童発達支援の小集団を週2回実施している。	コミュニケーション力、気持ちの切り替え、子ども同士で物事を考え作り上げていける力を養っていくことを目的に行っている。	週2の割合での開催が1年経過したので、開催曜日や時間帯、内容等、検討し進めて行く。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	利用者以外との子どもたちの交流。 (放課後児童クラブ、児童館)	交流の目的についてしっかりと考える必要がある。	保護者様や利用者の意見を聞き確認しながら、進める必要があると感じている。
2	送迎を行っているため、フィードバックが保護者様に伝わっているか。	送迎希望のご家庭には、担当した職員以外の職員が送迎をする場合があるので、フィードバックの内容が細かい所まで伝わっているのかが課題となっている。	伝え方などメモに書いてもらったものを保護者様に伝えていますが、メモも様式を決め端的に伝えられるように工夫をしている。
3	保護者様とのラインやメールのやりとりについて。	管理の仕方等、理解できていない部分があるので、他校舎でラインを利用している校舎に利点等聞きながら、校舎内で話合っ、より良い方向に進めて行く。	実際にライン等利用している他校舎の意見も聞き、職員の意見も聞きながら良い方向に進めて行けるのであれば、取り入れていきたい。

公表

## 保護者等からの事業所評価の集計結果

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」恵庭校
------	---------------------

公表日 2025年 2月 15日

利用児童数 17名 2024年 11月 1日

回収数 15名

		チェック項目					ご意見	ご意見を踏まえた対応
			はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない		
環境・ 体制 整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	12	2		1	・小集団のお部屋も適切だと思う。	・今後はお便り等の配布も視野に入れ 詳細も周知していきたい。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	13			2	・送迎2名が安心できる。支援も人数 がいてありがたい。	・今後はお便り等の配布も視野に入れ 詳細も周知していきたい。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	13	2			・体を動かす場、座って何かをする場、 手を洗う場等分かりやすい。	・バリアフリー等建物を変えていく ことは望めないが、それに代わる工夫を していきたい。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	14	1			・清潔でトイレなども行きやすい表示 がされていると思う。	・更に心地よく利用していただけるよ うにしていきたい。
適切 な 支 援 の 提 供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	15				・子どものことを理解し、その子に合った支援を している。 ・クラゼミのおかげで出来なかったこと、気にな る点が改善されている。	
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか。	15				・お便りなどで説明されている。	
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	15				・いつも作って下さる支援計画は、こ ちらの伝えきれなかったことも加味さ れ、すごいです。	
	8	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	14			1	・こどもの特性を踏まえた上での支援 フィードバックになっていると思う。	・保護者の方々にも理解していただ けるように更に丁寧に伝えられるよ うに心がけたい。
	9	児童発達支援計画に沿った支援が行われていると思いますか。	15				・計画に沿った支援が行われている。 ・その日の活動内容や本人の様子を覚えてもら うと、支援計画をこちらが思い出すような内容 です。	
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	13	1		1	・工夫された楽しい活動が多いですが、 イベント事が少なくなっていく、制作ばかりは少 し悲しいです。	・今後イベント内容は、検討していきたい。
	11	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、その他地域で他のこどもと活動する機会がありますか。	7		2	6	・知らないだけかもしれませんが。	・今後周知の仕方を工夫していきたい。
保 護 者 へ の 説 明 等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	15				・丁寧に説明していただいた。 ・丁寧にありました。	
	13	「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	15				・丁寧に説明していただいた。 ・毎回の確にされています。	
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	9	2	1	3	・茶話会以外の物を知らないのかも しれません。	・茶話会は行っているが、研修等も 視野に入れ検討していく。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達状況について共通理解ができていると思いますか。	12	2			・備りに今日何をしたか等、詳しく教えていただい ている。 ・いつもちょっとしたことで、こちらの相談にのっ たいて、次の支援に繋げていただいています。	回答無し1
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	14			1	・特性なのか、年齢的なのか、子育 てでの困りごとなどアドバイスをいた だいています。	・子育てサポートや家族支援を利用 していただけるように周知してい きたい。
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	14			1	・何かあればいつでも聞かせて下さいと 言ってもらっているので、うれしいし ありがたいです。	・更に丁寧なフィードバックを行 い利用者、保護者に納得していただ けるように支援をしていきたい。
18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	9	4		2	・茶話会はとても楽しく、色々と情報 交換ができて良かった。 ・保護者同士のみ、設けられているのは 知っています。兄弟向けは無いのかなと 思います。	・2024年度は、茶話会の開催が1回 のみだったので、2025年は2回の開催を 目標にしていきたい。	

	19	子どもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	13	1		1	・相談にすぐに対応してもらい、話をゆっくり聞いてもらっています。	・子育てサポートや家族支援について詳しく説明していき、利用者や保護者のニーズも合わせて聞いていきたい。
	20	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	14	1			・職員の方同士でもこちらの状況を理解して共有してくださっています。	
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されていますか。	12	2		1	・あまり見る機会がないのですが、調べると載っているのを見たので、○○に載っていますと教えてもらえると気付きやすいと思います。	
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	15				・されているのではないかと思います	
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	11	2		2	・訓練は子どもは受けてはいないと思います。周知もありません。	・利用者、保護者に詳しく周知していきたい。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	7	2		6	・訓練は子どもは受けてはいないと思います。周知もありません。	・利用者、保護者に詳しく周知していきたい。
	25	事業所より、子どもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	12	1		1	・周知はないですが、安全の確保は問題無いと思います。	
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	12			3	・幼稚園帰りは、ぬれていたこと等も教えてください。	・支援中の怪我等は、フィードバック時にお伝えしている。
満足度	27	子どもは安心感をもって通所していますか。	15				・安心感を持って通えている。 ・職員の方、場所への信用、信頼があります。	
	28	子どもは通所を楽しみにしていますか。	14	1			・毎度楽しみにしています。嫌がったことはないです。	・利用者全員に「楽しい」と言っていただけるように更に工夫していきたい。
	29	事業所の支援に満足していますか。	15				・満足しています。子どもも楽しく通えている。 ・職員の方、支援の内容共に大変満足しております。	

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	こどもサポート教室「クラ・ゼミ」患庭校	公表日	2025年 2月 15日
------	---------------------	-----	--------------

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	○		・個別に対応できる部屋もあり、運動できる広いスペースもある。 ・個別に支援しやすいように個室が設けられている。	・広いスペースもあるので、小集団にも活用できるが、個別、小集団を同じ時間帯に支援を行う場合の使い方を工夫していく。
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	○		・必要に応じて配置している。	・送迎業務がある為、職員人数に余裕があとより良い。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	○		・ホールは掲示物はあるが、個室は刺激に配慮し必要最低限にしている。	・駐車場からの移動時に注意が必要。 ・施設が2階にある為、階段の昇降には気をつけている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	○		・毎朝、清掃している。 ・整理整頓に気をつけている。	・冬期間は暖房等で起こる、乾燥には気をつけている。
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	○		・1枠の利用が1人1部屋になるよう計画されている（イベント、小集団を除く）	・1部屋ずつ壁で仕切られているので、使いやすくなっているが、椅子やテーブル等の備品の充実できるように考えていきたい。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	○		・引継ぎや情報共有を行い、支援や業務改善に務めている。	・目標や振り返り等は、全職員共通理解のもと行っている。
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・利用時のフィードバックやモニタリング等で保護者の意向確認を行い、ケース会議で職員間共有をして進めている。	・保護者の意向については全職員確認している。対応については徐々に進めて行く。
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	○		・1on1を行い、意見を聞き、改善に繋げている。	・1on1以外に面談の時間を作ってきたい。
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	○		・運営会議、ケース会議等で議題にあげ職員間で確認している。	・行政等に公表している。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	○		・定期的な研修があり、参加させてもらっている。 ・発達支援研究所の研修を中心に行われている。 ・社内での研修が月1回程度開催されている。	・実践に向けての研修の機会を今以上にもうけていきたい。
適切な支援の提	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	○		・HP、行政等に公表している。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	○		・作成時に保護者様に確認している。 ・モニタリングや支援の方向性を共有するなどして、それらの情報をもとに支援計画を作成している。	・計画作成以外、フィードバックで保護者と話をする機会はあるが、その時に応じてより細かな話ができるようにしていきたい。
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	○		・全職員がモニタリング、計画立案に参加し利用者についての共有がされている。	
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	○		・職員全員に共有し、ケース会議や引継ぎで確認している。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	○		・会社で用意されているツールを使用している。	・引継ぎ等で更に詳しく、お子様の状況を確認していきたい。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	○		・子育てサポート加算や家族支援加算を保護者の方々に利用していただき、その結果を職員間で共有し支援に繋げている。	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	○		・定期的に打ち合わせをしている。	・職員間で打ち合わせをしているので、課題の改善が必要な際はその都度、改善のために打ち合わせを行っている。

供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	○	・必要に応じて、季節感を味わえるものを取り入れている。	・利用者に必要な支援は職員間で共有しているが、支援内容はそれぞれ考えているので固定化はしていないが、更に工夫をしていく。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ、児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	○	・小集団を定期的に行っている、そこで出た課題を個別支援で支援している。	・小集団については、曜日、時間等来年度に向けて、改善等があれば考えていく。
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	○	・職員間で支援前に引継ぎを行い、支援の方向を統一するようにしている。	・更に良いものを作るためにその都度、打ち合わせしている。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	○	・引継ぎの際にその日の児の様子を共有している。 ・気づいたことなどは職員間で共有している。	・その日のうちに振り返りをできないこともあるが、次の日の朝礼等で共有している。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	○	・毎時の支援の記録を書き残している。	・記録は徹底しているが、検証についての詳細はなるべく時間を作ってはいるが、モニタリング時に行うこともある。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	○	・職員で定期的な話し合いを行っている。	・成果を出して行くために課題について集中して支援をするように努めている。
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	○	・児発管が参加している。	・今後は児発管以外にも担当者会議に参加できるようにしていきたい。
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	○	・児の通う園を見学し話を聞いている。 ・幼稚園、保育園の見学や情報交換を定期的に行っている。	・保険、医療との連携はほとんどないが、利用者の受診時には保護者の希望で活動報告書等を担当医の方に提出することがある。
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・児の通う園を見学している。園の先生も来所し利用時の様子を見学してもらい情報共有をしている。	・就学に向けての支援は行っている。頻繁ではないが、保育所、幼稚園と情報共有の機会もある。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	○	・担当者会議等を行い情報の共有をしている。	
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。			
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。			
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。			
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	○	・市の相談室と利用者のモニタリングを行っている。	
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	○	・利用者以外のこどもの交流は行っていない。	・交流の目的等を確認しながら、検討していきたい。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	○	・フィードバックで様子をお伝えしている。 ・フィードバックやモニタリングの確認、家族支援の中で保護者の方から家や保育園の様子を聞き支援に繋げている。	
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	○	・家族支援に関しては、子育てサポートや家族支援等で相談、助言の場を設けている。		
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	○	・契約時に説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	○	・モニタリングの際、保護者様の方から要望を聞いている。	

保護者への説明等	37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	○		・保護者様に説明させていただき同意を得ている。要望もお聞きしている。	
	38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	○		・フィードバック時に家庭や学校の様子を聞き、家族と連携を図っている。	・フィードバック以外にも時間を取って、家族支援等も行って行きたい。
	39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	○		・茶話会を開催し、交流の場を作っている。 ・茶話会を行い、保護者の方同士の交流や保護者の方からの相談、情報交換を行っている。	・きょうだい同士の交流も検討していきたい。
	40	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	○		・職員が返答できる内容はその場で返答している。職員間での共有や確認が必要な内容は全職員に周知し、打ち合わせを行ってから保護者に伝えている。	
	41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	○		・チラシやHPなどでイベントや小集団の開催、様子を公開している。	
	42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	○		・鍵付きロッカーで保管している。	
	43	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	○		・具体的、丁寧に説明を行っている。	
	44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	○		・イベントのチラシの配布を行っているが、招待等は行っていない。	・今後検討していきたい。
非常時等の対応	45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	○		・研修、訓練を行っている。	・訓練等の日程は施設内に設置しているが、保護者への周知は行き届いていないことがあるかもしれないので、お知らせの仕方を検討していく。
	46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	○		・研修、訓練を行っている。	・保護者様には、契約時には伝えているがお知らせの仕方の工夫が必要になる。
	47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	○		・見学や契約の時に保護者に確認をしている。	
	48	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	○		・食物アレルギーについては、保護者の方に確認している。	
	49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	○		・計画を作成し、研修や訓練にも参加している。完全管理について日頃から意識し職員間で共有している。	・契約時には、お伝えはしているが、お知らせの仕方の工夫が必要となるので、今後検討していく。
	50	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	○		・災害時の避難についての連絡等は契約時に説明している。	・契約時には、お伝えはしているが、お知らせの仕方の工夫が必要となるので、今後検討していく。
	51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	○		・報告書を作成し、職員間で共有している。	
	52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	○		・研修に参加し、情報共有を行っている。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	○		・契約時に保護者に説明をしているが、計画に記載する該当の利用者がいない為行っていない。		